

「平成30年度若年技能者人材育成支援等事業」推進計画

平成29年度の事業実績を踏まえ、中小企業や工業高校等に対してものづくりマイスター及びITマスターの派遣による実技指導を行い、ものづくり産業を支えていく知識・技術・技能を持った若年者の人材を育成する。また、小学校・中学校等の児童・生徒にもものづくりの魅力発信を引き続き行う。若年者に対する技能啓発を推進するとともに、熟練技能者によるものづくり体験等を行い、技能尊重気運の醸成を図る。

1 ものづくりマイスター及びITマスターの活用事業

(1) 業務実施体制

技能振興コーナーに窓口を設置し、相談、コーディネートを行う専任者を配置する。

(2) ものづくりマイスター等の申請・認定手続、指導技法等講習会の実施

実技指導ニーズの高い職種のものづくりマイスター及びITマスターを掘り起こし、認定申請手続を支援する。また、認定されたものづくりマイスター及びITマスターに対し、指導技法等講習会を実施する。

(3) ものづくりマイスター及びITマスター制度の広報

当事業の取組内容や、ものづくりマイスター及びITマスターの実施状況に関するチラシを作成し、利用の促進を図る。

(4) ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施

中小企業や教育関係機関等にもものづくりマイスター及びITマスターを派遣し、技能競技大会の競技課題や技能検定の実技試験の課題を利用し、高度な技能の習得を支援する。

なお、平成26年度に実施した中小企業(3,000社)へのアンケート結果等を活用し、中小企業への派遣を拡大する。

(5) 「ものづくりの魅力」の発信(工業高校を除く)

① 小中高の児童・生徒・教師等を対象に、ものづくりに携わる者の魅力体験談を語り、製作実演やものづくり体験を行う。

② 児童・生徒等を対象に、事業所のものづくりマイスターによる講義や製作実演を実施する。

③ 地域若者サポートステーションの要請に応じて、ものづくりマイスターを活用した「ものづくり体験」等を実施する。

④ 一人親方等のものづくりマイスターが働く職場で、職場体験実習の実施を要請し、協力が得られた場合、学校等に参加者を呼びかけ、職場体験実習を実施する。

2 地域における技能振興事業

〈技能五輪全国大会等〉

(1) 技能五輪岡山県予選会の実施

岡山県予選会を技能検定で実施する競技職種を除いた競技職種で実施する。

- (2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会の参加支援
両大会に参加する中小企業、教育関係機関の選手及び指導者の参加旅費、工具の運搬費を支援する。
- (3) ブロック開催イベントへの参加
ブロック開催のイベントに際しては、幹事県をはじめ、各県コーナーと協力して取り組み。
- (4) 技能伝承、ITを活用した生産性向上の好事例発表及び意見交換会の実施
好事例を各企業に普及させるため、好事例となる取り組みを行う企業がその内容を発表する場を設けるとともに、その取り組みについて参集者等で意見交換を行う。

〈技能尊重機運の醸成〉

- (1) おかやまものづくりフェア 2018 の開催
ものづくりを身近に感じ、見て、触れて、体験できる県民参加型のフェアを開催する。
- 開催時期：平成 30 年 11 月開催予定
 - 会場：コンベックス岡山 中展示場
 - 開催内容：・ものづくり体験コーナー及び職人の技実演コーナー
・「現代の名工」などによる作品展示 等
 - 来場者目標：5,000 人
- (2) 小中学校等の児童・生徒へのものづくり体験教室の実施
ものづくりを直接体験することにより、作品を完成させる喜びを実感してもらい、技能の魅力、技能者の役割等について学ぶことができる「ものづくり体験教室」を実施する。
- (3) めざせマイスターパイロット事業（WEB サイト）の運営
平成 26 年度に作成し、平成 27 年 3 月に開設した WEB サイトの運営管理を行い、中高生等の若年層に「ものづくり」の世界へと進んでもらうための導き（パイロット）となるよう内容の充実に取り組む。

3 連携会議の開催

国、県、経済団体、民間企業等を構成員とする連携会議を設置し、年 2 回開催する。
年度当初に地域の産業特性や就業構造等を踏まえたものづくりマイスターや技能振興の取り組み、事業実施に当たっての連携・協力の在り方の方針決定、年末の年度総括及び次年度案の策定を行う。

構成員：18 名

第 1 回：推進計画の決定 第 2 回：年度見通し及び次年度推進計画案の策定